



富士森

東京都立富士森高等学校同窓会報

東京都立富士森高等学校
同窓会報 (No.9)

発行日 平成16年4月1日
編集 富士森高等学校同窓会
住所 〒193-0894
八王子市長房町420番地
都立富士森高等学校内
TEL 0426-61-0444
<http://www.fujimori-ob.com/>

在校生への支援



母校、富士森高校は、目指すべき学校像として、「地域に根ざし、連携型中高一貫校としての普通科中堅中位校」を掲げている。その一環として、全国の公立高校で始めてコンピュータを使った英語の自学自習システムを導入した。今回は、佐藤校長先生から、その方針等を寄稿していただいた。

英語自学自習システム 教材eラーニングを導入

本校は、いろいろな歴史を刻みながら六十三年来を迎えています。この歳月は、「富士森」の伝統と校風を築き上げるとともに、本校に学び、育てられた卒業生の深い愛着の絆を作り上げてきています。今年三月までの卒業生は、約一万七千人に及びました。卒業生各位の親睦・交流と母校への支援をねらいとした同窓会も人心一新し、役員の方々の母校への熱い想いと厚いボランティア精神で活動していることを嬉しく

平成16年度総会

日時 5月30日(日)
午後1時～ 校内案内
午後1時30分～ 吹奏楽部演奏
午後2時～ 総会・懇談
会場 母校多目的ホール
会費 無料

クラブの先輩・後輩やクラスメートをお誘い合わせのうえ、ご参加ください。アジアドのパンを食べながら、楽しく歓談しませんか。

思っています。さて、本校では、生徒一人ひとりの潜在的能力を伸ばし、目標としている大学や短大、専門学校などへの進路が実現できる学校づくり計画を策定し、具体的な教育活動を実践しています。学校運営計画では、中期的目標として、次の六つを掲げています。

- 一 生徒の可能性を引き出す学習・進路指導の工夫改善と充実
- 二 委員会や部・学校行事等、生徒の自主的な特別活動の活性化
- 三 思いやりや美しいものに感動



▲設備の整ったパソコン教室

- する心の育成
- 四 花いっぱい活動等を中心として、穏やかで心落ち着く生活環境の整備
- 五 保護者や地域に信頼され、中学校や地域から顔が見える高校づくり
- 六 研修や実践を通して協力協働し、生徒と夢や希望を語り合う学校づくり
- それを実現する教育実践の重点事項として、主に次の四つを考えています。(一) ITやインターネットを活用した学習や進路指導の充実(二) 中学生の体験入学や部活動の合同練習、教員の合同研修等による中学校との教育活動の交流さらには相互乗り入れ授業の実施(三) 地域の高齢者



▲真剣な眼差しでeラーニングで学ぶ

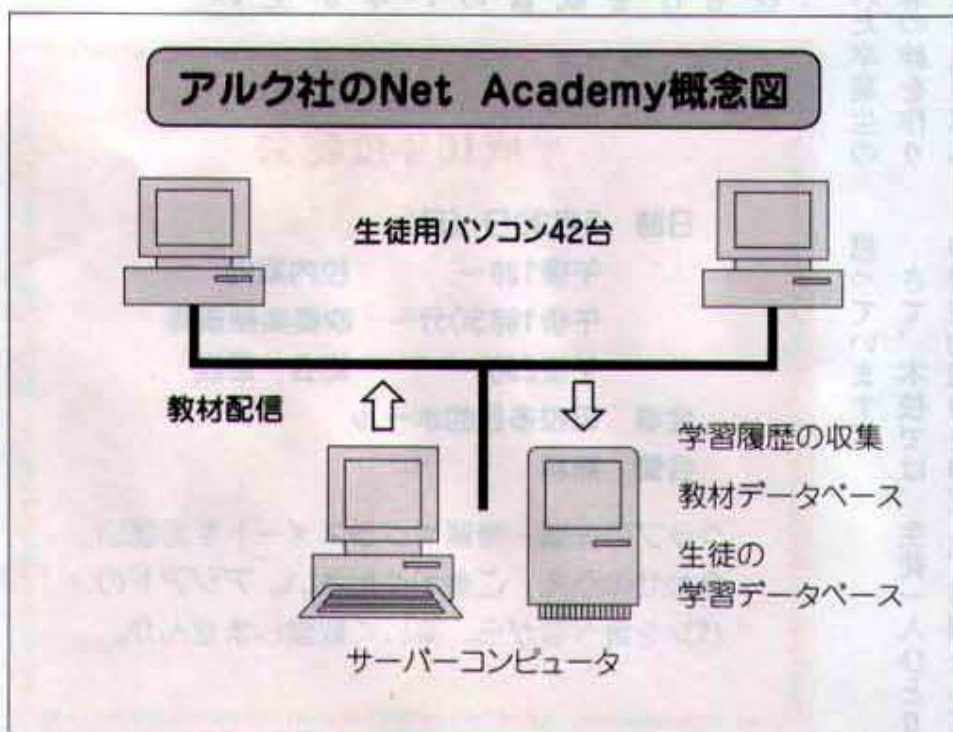
との世代間交流や児童・福祉施設等へのボランティア活動の充実、学校・地域・保護者と協力した校内や地域の環境整備等による開かれた学校づくり(四) 中国等帰国生徒の指導や制服リサイクル活動、諸外国の高校生との国際交流等、特色ある教育活動の充実と発展

重点事項(一)の具体的な方策として、昨年十月にコンピュータを使った英語の自学自習の学習システムを導入しました。これは、英語教育の大手総合会社であるアルク社が開発したNet Academy(ネットアカデミー)というシステムで、生徒が使う個々のパソコンを制御するサーバーというコンピュータにリーディング(読む)、リスニング(聞

く)、英単語等の学習教材を組み込み、学習時に各自のパソコンに読み込んで、生徒一人ひとりの学習状況に基づいて、自分のペースで、正誤や間違いやすい部分等を確認しながら自学自習していく学習環境です(下図参照)。全国百十三校の国公私立大学、十八校の高等専門学校、二校の私立高校で活用されている実績があり、英語力のグローバルスタンダード(国際基準)であるTOEIC資格検定や英語検定等において成果をあげています。費用やシステム管理の諸問題のために国公立の高校では導入例がなく、本校が公立高校では全国最初の導入となります。この導入に当たり、同窓会から百万円ほどのご支援をいただきました。ここに同窓生各位へ謝意を表します。ご来校の折には、この画期的な英語学習システムをぜひ、ご覧ください。

授業や放課後、長期休業中での本格的な活用は、これからですが、在校生には、このNe

Academyを活用して英語力を伸ばし、難関大学やTOEIC・英検等の資格試験等に積極的にチャレンジするよう進路指導を充実していきます。また、ご支援いただいた同窓会の期待に応えるためにも本校の大きな教育活動の特色として中学校等にPRしながら、新しい英語の指導方法の実践研究や効率的なシステム運営などを考えていきたいと思っています。(校長 佐藤公作)



平成15年度この一年

ネットアカデミーを導入して

英語科 和田 信弘

昨年の末にアルク社自学自習システム・ネットアカデミーを都立高校で初めて導入していただきました。なぜ、今のシステムが必要なのか、そして本校の英語力向上のためにこれまで何をしてきたのか、その背景と今後の展開をお知らせします。

本校では、4年前からワードカップと呼ばれている英単語能力向上のための単語試験を希望者対象に行ってきました。参加者は、1年間で700名を超え、この4年間である程度の成果をあげることができました。英語検定試験2級合格者を毎年2～3名も出すようになりました。しかしながら、英語の実力は、更なる伸びが期待されます。社会できちんと意思を伝えることができる英語能力を獲得するのは大変なことです。これを実現するには、基礎がきちんとできている人、すなわち中学・高校と、学校で英語の基礎をきちんと学び、その上話すことに積極的な人なら、ある程度のレベルの向上が期待されます。そもそも語学は、個人の努力と情熱が必要です。

こう考えると、学校の勉強のほかに個人的に英語を学習できる環境が必要となります。ここでアルク社のネットアカデミーがあれば、生徒も放課後、空いている時間に練習することができます。

では、これまでの学校の取組みについて紹介します。昨年の末から、3月まで1、2年生対象の使い方説明会を行い、その後、クラスごとに単語力診断テスト、リスニング診断テストを行いました。単語力テストは、個人の能力に合った単語が次々と出て来て、その意味を選択肢の中から選ぶ問題です。初級の生徒は途中で終わりますが、力のある生徒は、最後の問題まで解くことができます。現在は、ほとんどの生徒が初級ですが、中には中級の上クラスの生徒もいます。リスニングテストは、生徒が比較的得意とする分野ですが、現状では、初級から中級までかなりバラツキがある状態です。

新学期からは、希望する生徒を対象に、本格的な説明会を行い、どうすれば英語の力をつけられるかを詳しく話していく予定です。

2分野（単語力・聞く能力）とも終了するまでに、1年以上かかるものと予想されます。その後は、各人の力に従って、まず英語検定の2級を目標にし、さらにはこのシステムの最終段階にあるトピックテストの練習に入ります。トピックを受験し、真に国際コミュニケーション能力を身に付け、今後の進路に役立てて欲しいと期待しています。

◆会報発行（4月1日）

1万3千部を印刷。会員に送付。

◆入学式（4月8日）

副会長が来賓として出席。終了後に新入生の保護者と同窓会活動を説明。

◆歩行会に参加（5月9日）

役員4名が参加。在校生と楽しい交流を図った。

◆総会（6月1日）

母校の多目的ホールで総会を

開催。総会に先立ち吹奏楽部による演奏を堪能し、その伴奏で校歌を合唱。総会では平成14年度事業報告及び決算、平成15年度事業計画及び予算案を審議し、承認。

その後、アジアドのパンと千松園の和菓子で在校当時の思い出を語り、懇親を深めた。

◆文化祭（9月14・15日）

恒例の「ホットコーナー」を設置、温かいコーヒートウーロン茶で来場者を接待。在校生や卒業生などとの交流の輪を広げた。また、「七

宝教室」を開催し、携帯ストラップやペンダントなどの製作を楽しんだ。参加費（300円）の合計額2万1千100円は東京シヨツ

パー社を通じて三宅島噴火災害見舞金として寄贈。三宅島村長から領収書と礼状（12頁参照）を受け取る。その他、歴代の制服や卒業アルバム、旧校舎や学校行事などのスナップ写真、卒業生から寄せられた近況はがきを展示した。

◆「学校運営連絡協議会」「学校開放事業運営委員会」に参加

近隣

の小中学校長や自治会代表などとともに菱山副会長が同窓会代表として参加。

◆PTA役員や校長等と懇談・協議を実施

同窓会入会者増員対策について、数回にわたる懇談を行い、ともに協力することで一致。

◆クラス会、同期会開催の支援

クラス会等の開催にあたり、幹事からの要請を受けて名簿を提供。

◆同窓会会員名簿の随時管理

転居通知を受け、名簿をノートパソコンで随時に整備した。

平成14年度決算

平成15年度総会で承認されました平成14年度決算をここに報告します。

収 入

区 分	予 算	決 算	説 明
繰 越 金	21,835,948	21,835,948	
同 窓 会 費	2,800,000	1,129,265	113名×10,000
総 会 費	150,000	99,000	会費：3千円×30名、千円×9名
雑 収 入	2,004,000	2,070,968	返戻金、預金利子等
合 計	26,789,948	25,135,181	

支 出

区 分	予 算	決 算	説 明
運 営 費	200,000	121,785	役員会賄い、事務用品代
通 信 費	200,000	46,745	電話代、切手代等
交 通 費		161,200	幹事会参加役員交通費実費
備 品 費	250,000	298,950	ノートパソコン、プリンター、デジカメ購入代
総 会 費	350,000	375,662	ケータリング代等
卒業記念品代	270,000	259,315	卒業証書フォルダー、コサージュ代、皆勤賞商品代
会報発行費	1,650,000	1,643,175	1万3千部印刷費、郵送費
文化祭費	300,000	158,220	展示用パネル借用費、展示用消耗品代、七宝教室材料費、ホットコーナー茶菓子代
クラブ他支援費	100,000	88,000	吹奏楽部定期演奏会会場費支援、プログラム広告費
ホームページ開設維持費	100,000	71,925	通信サーバーレンタル料等
予 備 費	280,000	25,855	故田島先生花輪代、香典
返 還 金	0	10,105	脱会者1名分会費返還、振込手数料
合 計	3,700,000	3,260,937	
繰 越 金	23,089,948	21,874,244	

- ◆同窓会ホームページの更新・管理 学校行事や同窓会関連情報等を入力し、内容を随時更新し、管理した。卒業生が開設しているホームページにリンクできるようにした。
- ◆英語教材導入援助 パソコンを利用した英語学習教材（eラーニング）の導入にあたり、ソフト提供会社や母校校長、英語科教諭、PTA役員の方々の情報交換や懇談を重ね、資金援助を決定。
- ◆皆勤賞を授与 卒業式前日開催の予行演習時に3年間皆勤した卒業生12名に電子辞書を皆勤賞として贈呈した。
- ◆卒業式（3月6日） 正副会長が来賓として出席した。
- ◆吹奏楽定期演奏会を支援（3月22日） いちようホールで開催された第14回吹奏楽定期演奏会の会場費の一部を支援したほか、プログラムに同窓会の広告を掲載した。
- ◆定例幹事会の開催 毎月第3土曜日の午後、母校会議室で開催したほか、必要に応じて随時に開催。
- ◆クラス名簿の提供 クラス会開催支援として名簿を提供。

平成十五年度

総会報告

平成十五年度の同窓会総会は、六月一日午後二時から母校多目的ホールで開催された。

総会に先立ち、東京都吹奏楽コンクールB組で銀賞を受賞した母校吹奏楽部の素晴らしい演奏を堪能した後、吹奏楽部の伴奏で出席者全員が校歌を合唱した。その後、教頭先生のご案内で校内見学を行った。改装されたパソコン教室やアリーナ（体育館）などを見学。アリーナの壁面には、母校の校歌のレリーフが飾られている。もちろん母校の国語科教諭・田嶋民一先生の作詞、音楽科教諭・岩田一九郎先生の作曲である。



▲教頭先生の案内で校内見学



▲円卓での懇談

総会は、水越副会長の進行で始まった。長谷川会長、名誉会長の佐藤校長先生の挨拶の後、菱山副会長を議長に議事進行が行われた。長谷川会長から、平成十四年度の事業報告が、馬場会計から十四年度決算報告と十五年度予算案が、松坂会計監査から十四年度決算の会計監査が、それぞれ報告され、質疑の後に全員一致で了承された。

今年度は、参加者が三十名余りと少なかったこともあり、円卓方式で懇談となった。懐かしい「アジアド」のパンと千松園（昭和三十二年卒、柳内秀夫さん経営）の和菓子をお茶のさかかなに、同窓会の将来や昔話に花を咲かせた。

役員紹介

- 名誉会長 佐藤公作校長
 会長 長谷川隆司（四十一年卒）
 副会長 水越幸雄（四十三年卒）
 菱山寛治（四十四年卒）
 幹事 福田文夫（三十三年卒）、
 中田澄子（三十五年卒）、小石京子（三十八年卒）、中川有子（四十二年卒）、戸倉光聡（五十年卒）、須藤浩（五十年卒）、東浦由理夫（五十八年卒）、根本猛（八八年卒）、長島光男（八八年卒）、山田賢一（八八年卒）
 会計 馬場幸枝（四十四年卒）、中村京子（八二年卒）
 監査 松坂章二（四十五年卒）、錦織政晴（四十六年卒）

平成16年度の事業計画案

■広報活動の充実

ホームページを充実し、学校行事の案内や同窓生の近況や同窓会活動などの掲載を拡充していく。アクセス数は多いが、書き込みが少ない。ぜひ、書き込みをして欲しい。今後、会報発行経費節減に向け、同窓生からの広告掲載やインターネット会員を募集して、会報の配信の検討など、広報活動の充実に努める。

平成16年度予算(案)

歳入		
繰越金		5,265,803
同窓会費		2,300,000
雑収入		0
合計		7,565,803

歳出		
運営費		100,000
通信費		50,000
交通費		150,000
総会費		50,000
会報発行費		1,650,000
文化祭費		100,000
ホームページ維持費		70,000
予備費		1,395,803
特別会計		4,000,000
合計		7,565,803

特別会計

周年行事基金	12,000,000
在校生支援金	4,181,043
同窓生支援金	3,500,013

平成十五年度の総会に際し、多くの方々からお便りをいただきました。残念ながら参加できませんが、皆様に宜しくとのことでした。総会会場にこうしたお便りを掲出しましたが、今回、このうちの一部を会報でお届けいたします。懐かしい方々からの近況です。

教職員の方々から

○三瓶達司（練馬区在住）

現在、緑内障悪化のため体調不良。ただしボケはなし。耳も遠い。ご盛会を祈ります。（妻代筆）

○佐々木妙子（世田谷区在住）

同窓会には卒業生が全員入るよう働きかけて欲しいと思います。卒業当時は同窓会など必要ないと思ってしまう人も、年を経てその必要を思うことが多いものです。思い出のある学校づくりには在校諸先生、生徒さん頑張ってください。

○磯村元信（八王子市在住）

同窓会の入会の減少は、この都立でも問題になっています。卒業時に入会の有無を問わなければならなくなりました。前任校では、入会のお知らせの下に小さく「入会を希望しない人は申し出て下さい」とだけ入れてあります。だから100%の入会になっています。工夫の余地があるのでは？

○岡本惇（国分寺市在住）

富士森高校から青梅東高校に転勤して、そこで定年を迎え、今年で十二年になります。この不景気の中で悠々自適とはいきませんが、野鳥と野草の観察、時に案内人という生活です。夏になると鮎の友釣りに川に入ります。スキーはできなくなりました。バスケットはテレビ観戦だけになりました。

○柴野文（国立市在住）

川向こうの八王子工業高校に勤務しています。近いようで遠くなっています。

○小田原栄（あきる野市在住）

昭和四十年からの二年間でしたが、初任校として富士森高校に勤務。その後、平成三年に学校現場から教育庁に異動し、教育庁理事を最後に平成十四年三月に定年退職しています。現在、縁あって八王子市教育委員の職を賜り、教育委員会事



担任の先生方
 松島剛和
 小林次朗
 岡田栄吉
 神保 彊
 山本一枝
 小林和彦
 青木俊一
 田島民一

○佐々木貞造（大和市在住）

同窓会報を懐かしく拝見いたしました。私が在職した頃の木造の校舎を思い浮かべ、明るく堂々とした様子や同窓の皆さんの活躍、和やかな交流便りを大変頼もしく存じます。私は八一歳になりましたが元気でいます。

○岡谷栄木

同窓会報を読ませていただきました。同窓会入会者減少の報、残念ですが、これも今の教育界、社会状況を反映していることのように思えてなりません。会を支えて下さっている皆様、どうぞめげずにご活躍ください。

おめでとうございます

B組



A組



昭和二十年代の同窓生から

▼中富(清水) 栄子(昭和二十年三月卒・神戸市在住)

総会のお知らせ有難うございます。現在、シルバー住宅に主人と二人で過ごしています。交通の便はまあいい所ですが、東京までは無理ですね。同窓会のご発展を祈っています。

▼山田かね(昭和二十年三月卒・八王子市中町在住)

一昨年の文化祭にはいろいろお世話になりました。卒業以来、校舎を見たのは初めてという人もおり、立派になった学校に感慨無量の様でした。同窓会役員の方々のお計らいで想い出に残るひと時を過ごさせていただきました。

▼奥住(大堀) 晴子(昭和二十三年



▲マラソン 校舎をスタート

三月卒・八王子市下恩方町在住)

民謡などを習っております。在学中に空襲に遭っている私たち学年は、戦後の仮校舎で卒業しました。そんな私たちも七十歳になり、自分ながら驚いています。

▼藤富(八木) 静江(昭和二十六年三月卒・所沢市在住)

戦後、バラック建ての校舎での三年間の高校生活を思い出します。現在も元気で、学校法人の幼稚園で副理事長として幼児教育を行っています。

▼中田(島村) 尚枝(昭和二十七年三月卒・八王子市元八王子町三丁目在住)

十二年前、夫と死別。次男と二人暮らしです。種々の生活習慣病と共存しつつも元気でシルバーコーラス、歌声コンサートに参加しています。

▼繁田(池端) 寿子(昭和二十八年三月卒・幸手市在住)

今は、子どもたちもそれぞれ独立し、孫が六人おります。主人との二人暮らしですが、公民館で健康体操をしながら楽しい毎日をごしております。

▼富井(藤崎) 君子(昭和二十八年三月卒・相模原市在住)

看護婦として六十歳定年。その

後、老人福祉センターに勤め、現在はアルバイトとして月に十日くらいお手伝いさせてもらっています。夫の母親(九十三才)と夫と三人の生活。孫が時おり我が家を賑わしてくれています。家事の傍ら、趣味の友と楽しんでおります。

▼梅沢(手塚) ゆき子(昭和二十九年三月卒・八王子市権原町在住)

卒業して五十年になりますが、現在も、働いております。昨年、テレビに出ていた百一歳の銀座のママさんのお誕生日に伺いました。ますます頑張ります。皆さまのご活躍をお祈りいたします。

昭和三十年代の同窓生から

▼奥富昭子(昭和三十年三月卒・小金井市在住)

東京で開かれる国際ショーなどで外国人のお手伝いをしています。二千年にはカリブ海の国・ドミニカ共和国で、二千年にはイタリアで外国人のお手伝いをしました。

▼沢崎洋子(昭和三十一年三月卒・八王子市富士見町在住)

家事有償援助サービスなどのボランティア、母校の創立六十周年記念行事に呼んでいただいた八王子マジックグループで忙しく活動

昭和37年3月卒業の皆さん 還暦



しています。

▼吉野(向山) 義江 (昭和三十一年三月卒・八王子市中野山王二丁目在住)

山登り、ウォーキング、俳句、短歌、カラオケ、その他教室での勉強に忙しい毎日をご過ごしております。

▼森田年彦 (昭和三十一年三月卒・埼玉県白岡町在住)

ポラテニアでテニスの指導をしています。小学校一年生から定年退職された高齢者まで多くの人たちと楽しい時間をテニスコートで過ごしています。

▼富松隆 (昭和三十一年三月卒・町田市在住)

三越本店に勤務して早や四十六年。二回目の定年を迎えました。そろそろ三回目の同窓会を開催したいなと思う今日この頃です。

▼新原(前原) 英子 (昭和三十三年三月卒・立川市在住)

地域の生涯学習で中国健康体操を週に数回指導しています。そのためか、お陰さまで非常に元気でご過ごしています。毎日が充実して送れることを幸せに感じています。母校の発展をお祈りします。

▼嶋崎孝行 (昭和三十四年三月卒・久留米市在住)

遠く九州に住んでいると、三年時の高尾の夕景色のなか、木製の長房橋を帰宅した景色が懐かしく思い出されます。現在の校舎や風景には残景もありません。思い出が共有できなくなり、同窓生よりも同級生の会の方に足が向きがちです。

▼河村(赤羽) 敬子 (昭和三十六年三月卒・八王子市三崎町在住)

三崎町の角でステーキレストラン(鉄板料理かわ邑) フォーマルダイニングという名で食事をしながら飲めるお店を営業しています。インターネットぴあに登録しています。よろしかったらご利用ください。

▼山崎和子 (昭和三十七年三月卒・中野区在住)

中野駅南口でスナックを経営して二十九日目になります。三十七年度の同級生とは年に五、六回、当店でミニ同窓会を開き、懇親を深めています。

▼原(佐藤) 静江 (昭和三十八年三月卒・東久留米市在住)

昨年と変わりなく暮らしております。同窓会の話もなく、高校時代の友人と会う機会もなく、地域の人々と趣味を通じて交わりが深いこの頃です。



▲体育祭で、騎馬戦

昭和四十年代の同窓生から

▼鈴木涉 (昭和四十年三月卒・日野市在住)

多摩市立和田小学校長をしています。卒業生が富士森高校に進むと、何となく嬉しさがありません。卒業生が中学校を訪問した時に一緒に校歌を歌いました。

▼石森(木崎) ハル子 (昭和四十年三月卒・東金市在住)

とても懐かしく「同窓会報」を読ませていただきました。学校もずいぶん変わったでしょうね。役員の方々もご苦労が多いと思います。

提供してください

授業風景や修学旅行、体育祭風景など、富士森に関わる資料を収集し、保管し、後輩たちに伝えていきたいと考えています。どんな物でも結構です。ご提供ください。

同期会・クラス会・クラブOB会 開きませんか？

■通信費を支援

同期会やクラス会を企画している幹事さん。通信費を同期会で1万円、クラス会で5千円を支援します。事務局までご連絡を。名簿も提供しています。終了後、新名簿と写真、感想をお寄せください。

クラブ活動のコーチ募集

在校生たちのクラブ活動は、かなり活発に行われている。しかし、部によっては、指導者がいないため十分な活動ができないのも現状。特に「剣道」「柔道」「空手」など武道の指導者がいない。同窓生でこれら在校生の部活動を支援できる方を紹介して欲しい。詳細は事務室までご連絡を。

すが、歳をとればとるほど懐かし
く嬉しいものです。

▼北川和男（昭和四十年三月卒・奈良市在住）

三十八年前の卒業。何を知らな
いかと問われれば、あの富士森高
校の校風にある。私は、奈良に居
を構えていて、八王子に戻った時
は、一度は訪れたいといつも念じ
ているが、実現しない。遠くにい
る人間ほど思いが深いのかもしれ

ない。

▼公文（林）正子（昭和四十一年三月卒・高知市在住）

また、高知市へ戻りました。
「同窓会報」を楽しみにしています。
遠くで総会へもクラス会へも出席
できず、心苦しく思っています。
ホームページも楽しみです。

▼森久保潔（昭和四十二年三月卒・相模原市在住）

相模原市内の高校で教師をして
います。高校時代の夢を今
も生徒たちと追いつけてい
ます。今も母校に大変感謝
しております。

▼藤本利明（昭和四十四年三月卒・日野市在住）

同窓会の入会率が落ちて
いるニュースにはビックリ
しました。これもご時世な
のか。小野先生の写真を見て、
またびつくり。当時の記憶
が蘇ってきて、しばし懐か
しさに浸っていました。

▼西沢明（昭和四十六年三月卒・長野県上山町在住）

現在、縁あって長野に住
居を構えております。高校
時代の卓球部の同期の者と
は電話連絡し、年一回の旅
行に参加しています。卒業後、

母校には顔を出していませんが、
陰ながら母校の発展をお祈りしま
す。

▼相沢祐治（昭和四十八年三月卒・多摩市在住）

自営で造園業をやっています。
三人の子どもをもち、泣き笑いの
毎日です。

昭和五十年代の同窓生から

▼松溪直樹（昭和五十年三月卒・厚木市在住）

娘がもう高校入試、早いもので
すね。同窓会存続の危機とのこと。
微力ながら応援していきたいと思
います。アジアドの紹介があり、
とても懐かしく思いました。

▼小杉（淡路）真由美（昭和五十三年三月卒・町田市在住）

クラス会出席の懐かしい河内先
生のお写真を拝見しました。嬉し
かったです。私たちの担任だった
間瀬隆年先生はお元気でしょうか。
アジアドにも行ってみたいです。

▼新堂（坂本）厚子（昭和五十三年三月卒・高崎市在住）

夫の転勤で高崎へ引越しました。
同窓会の会報をいつもどうもあり
がとうございます。何十年も経っ
ているのに、和やかにクラス会を

卒業アルバム 探しています

同窓会では、卒業アルバムを収集し、毎年文化祭で公開しています。昭和37年度から41年度の卒業アルバムがありません。ぜひ、ご提供ください。

やっっている記事を見ると、とても
うらやましいです。活躍されてい
る同窓生がいらつしやると誇らし
いです。

▼長谷川亮一（昭和五十五年三月卒・渋谷区在住）

「ハート音楽院」というギター
教室の講師をしています。総会当
日は、生徒の発表会と自主コン
サートのため参加できません。卒
業して大分経つということもあり
ますが、公立は私立と違い、知っ
ている人（先生）がいなくなっ
てしまうことがあり、それが少し寂
しいです。担任の渡部先生と陸上
部顧問の福本先生とは年賀状のや
り取りをしていただいて交流があ

りました。

▼渡辺(松田)伸子 (昭和五十五年三月卒・横浜市在住)

劇団民藝で「遙かなる虹へ」を上演いたします。演劇部出身の皆さんも、そうでなくても興味のある方は、ぜひお越しください。まだ演劇部が頑張っていていたら、部室にチラシを貼ってください。

▼松澤英子 (昭和五十五年三月卒・イタリア在住)

もう七年ほどイタリアに行っており、日本を留守にしております。仕事の都合で帰ってこられません。元気に働いております。(母代筆)

▼大塚(大塚)久美子 (昭和五十五年三月卒・八王子市並木町在住)

子供も富士森高校の一年生になりました。親子二代です。

▼藤田(大山)伸子 (昭和五十六年三月卒・青梅市在住)

三人の子育ての真っ最中です。今年、高一、中一、小一と三人そろって入学しました。アジアの存在がとても懐かしかったです。あの味は忘れられません。青梅市の教育相談所で、教育関係の広報誌で富士森高校の歩行会の記事を目にしました。今も続いているんですね。私自身は、ディサーピスで看護師として働いています。

▼中込重明 (昭和五十八年三月卒・府中市在住)

昨年、「落語の鑑賞(新書館)」を発行しました。今年、「落語で読み解く江戸の事情(青春出版社)」を発行します。現在、執筆や講演活動並びに大学講師をしております。

▼吉川(町田)和美 (昭和五十九年三月卒・日野市在住)

娘が受験生になりました。あの青春の日々(?)を思い出して、うらやましくもあり・・・。バレー部のOB会で年に一度は富士森高校に行っています。富士森高校は変わりません。

昭和六十年代の同窓生から

▼大谷啓介 (昭和六十年三月卒・川崎市在住)

昭和六十年三月卒業三年B組とC組時代の男子生徒で結成したロックバンド「Mainstreet」は現在も活動中。今年で十八年になりました。ライブ出演も果たしました。会員が減っていくのは困ったものですが、どんな事をやるのか、どんな点が良いのかを分りやすくアピールして、会費を下げて、クラブOBや同期O

Bなど横のつながりが連絡を取れる、コーディネートをする役割など、同窓生が望んでいることに特化してみてはいかがでしょうか。

▼田中(小坂)秀美 (昭和六十三年三月卒・昭島市在住)

小平市から昭島市に引越してきました。まだ知らないことだらけです。

平成時代の同窓生から

▼ダンスタン(岡部)幸恵 (平成元年三月卒・シドニー市在住)

現在、結婚してオーストラリアのシドニー市で看護婦をしています。平成七年にオーストラリアに渡り、インターナショナル・ライセンスを取得し、国立病院に勤務しております。同窓会に出席したいのですが、外国にいるため出席できません。(母親代筆)

▼日下田(関口)礼子 (平成二年三月卒・大田区在住)

フリーランスライターとして、のんびり仕事をしています。夫の仕事場の近くにと終の処を多摩川沿いに構えました。この上流には、懐かしい母校が在るのかと思うとなぜか心が、ホッとします。

▼水上直樹 (平成二年三月卒・八

王子市大楽寺町在住)

作業療法士として病院の仕事しながら医療専門学校の職員として働いています。

▼八木広行 (平成三年三月卒・八王子市中山在住)

平成八年に結婚して、五歳になる息子がいます。特別養護老人ホームに十年従事し、今度、指定在宅支援事業所に就職しました。

▼櫻谷麻弓 (平成五年三月卒・イギリス在住)

イギリスに出かけて、もう四年目になります。(母親代筆)

▼藤原真理子 (平成六年三月卒・八王子市上野町在住)

「同窓会報」を読ませていただいております。ところで、若い世代、二十から三十歳代の方々は、同窓会等に参加しているのでしょうか?会報を読んでみると先輩の方々の方が多いように思えるのですが。卒業するとなかなか訪問できないのが現状なのですが。

▼高橋訳由 (平成六年三月卒・八王子市本郷町在住)

現在、中国語の通訳をやっております。SARS(サーズ)の影響で中国へ出張しておりません。一日も早く治療方法を見つけられるよう望んでおります。

▼橋本紅美 (平成七年三月卒・イギリス在住)
本人は、イギリスに滞在中で、来春まで帰らない予定です。(母親代筆)

▼高橋利枝 (平成七年三月卒・八王子市絹ヶ丘一丁目在住)
都内の楽器店でピアノ講師をしています。

▼保延みほ (平成八年三月卒・八王子市東浅川町在住)
高校時代は友だちも居なくて、将来に関する明るい展望を持っていませんでしたが、今は百八十度違う日々を過ごしています。友達もできましたし、毎日、楽しく過ごしています。

▼大泉(高橋)沙優利 (平成八年三月卒・町田市在住)
二児の母親です。上の子が小学生で、下の子が幼稚園に通っており、家庭と仕事で多忙な日々をすごしております。

▼上田昌弘 (平成九年三月卒・八王子市下恩方町在住)
明治大学卒業後、公認会計士第二次試験に合格。現在、中央青山監査法人に勤務しています。

▼岩波志穂 (平成十年三月卒・日野市在住)
自分の夢、目標を見極めています。

す。

▼後藤(尾崎)友里 (平成十一年三月卒・八王子市中野上町在住)
結婚して三年になります。二歳になる娘もいます。従姉妹が富士森高校に通っていて、学校の様子を聞くと懐かしくなります。

▼山納千穂 (平成十三年三月卒・八王子市横川町在住)
保育士となり、保育園で働いています。

▼佐藤誠之 (平成十四年三月卒・

日野市在住)

▼鳥海達紀 (平成十四年三月卒・八王子市長房町在住)
大学に普通に通っています。

▼湯田恵子 (平成十五年三月卒・八王子市台町在住)
大学に慣れ始め、楽しく通っています。

▼塚田哲男 (平成十五年三月卒・日野市在住)
大学生生活を楽しく過ごしています。

タカコ・半沢・メロジー講座 読者ファンで満席

富士森高校を昭和44年3月に卒業され、現在、イタリア在住のタカコ半沢メロジー氏の講座が中目黒のGTプラザで開催されました。会場には遠くは九州からの読者ファンも居られ、早くから予約を取るなど会場は多くのファンで満員状態。著作と変わらない軽妙な語り口に、聴衆は大いに笑い、感激し、楽しいひと時を満喫された様子でした。テーマは、「幸せになるイタリア式コミュニケーション術」。アモーレの国イタリアならではのお話やQ&Aを含めた講座では、著者と読者が一体となったかのような錯覚さえ覚えました。ぜひ、皆さまも気軽な気持ちで著書を重みくだされば、愛情・人との触れ合い方などイタリアの一面が見られるのでは・・・!



▲講座終了後、読者と会食

ご冥福をお祈りいたします

米山忠雄先生
能條正義先生
飯島クマ先生
戸村良治様(昭和54年3月卒)
斉藤(村松)澄様(昭和34年3月卒)
木村(村松)富子様(昭和36年3月卒)
香川(小松)純子様(昭和43年3月卒)

クラス会だより

集まると女子高生

(昭和四十一年三月卒)

高田(小野) 幸子

私たちクラスは、二・三年おきにクラス会を開催しております。毎回、十二・三名から二十名くらいの出席者です。

今回は、平成十四年四月に開催。十二名が出席。そしてもちろん山本先生もいらしてくださいました。中



▶山本先生を囲んで、女子高生に逆戻り

同窓会の名を騙る 電話勧誘にご注意を

最近、同窓会の同意を受けたからといって、金融商品の勧誘電話が年輩の同窓生宅にかかっている。同窓会では商品の販売や推薦など一切していない。同窓会推薦などといった勧誘はきっぱり断ることが肝心。ご注意を。

には三十年近くも会わなかった人が四名ほどおりまして、山本先生はもちろん、幹事(私を含めて三名)をした者も大喜びでした。茨城という遠方から来てくれた人もいました。学校が八王子にあり、山本先生も八王子市内にお住まいということが多くあり、会場は市内ですることが多いです。今回は、京王プラザホテル八王子で行いました。クラス会が始まり、五分もすると高校生に逆戻りです。とつても賑やかで、目を瞑って聞いていると女子高生?という想いです。だいぶ無理がありますね。みんな主婦なので、昼間に開催して、夕方までには解散します。幹事は、その時に集まった人の中から二・三

編集後記

学校運営も大変なようだ。経費削減とやらで、部活動経費が大幅にカットされている。また、「空手部」や「剣道部」、「柔道部」といった武道系の部の指導者も不足しているという。これら武道を現役でやっている同窓生は月に1・2度、できれば週に1・2度、在校生の面倒を見ていただけないものか。このままだと部活動そのものが停滞してしまう恐れがある。昔やっていただけだと体が付いて行かない。ぜひ、現役で活躍している方をお願いしたい。在校生のために。

平成15年10月3日

富士森高校同窓会 様

東京都三宅島三宅村長 長谷川 鴻

初秋の候、貴職におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より三宅村政に対しまして、格別のご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

また、この度は三宅島噴火災害に対しまして、ご丁寧なお見舞いを賜り、心より深くお礼申し上げます。お寄せいただきました義援金につきましては、三宅村民のために有意義に活用させていただきます。

早いもので、三宅村民は全島避難から3年が経過しました。火山ガスの放出量は減少傾向にあり、帰島への明るい兆しも見えております。

三宅村といたしましては、災害復旧事業を全力で進めております。火山ガスの状況によっては帰島も考えられますので、安全対策等その準備を進めているところでございます。

今回のご厚情に対しまして、略儀ながら書中をもってお礼とご報告のご挨拶を申し上げます。

ありがとうございました。

人を決めます(近所に住んでいたたり、仲良しだったり)。集めた会費は、持ち越さずに、その都度使い切るよ

うにしています。収支報告は、クラス会用ノートに記入し、次の人にまわします。